

学 校 名	国分寺市立第二小学校	実施年月日	平成16年11月26日
指 導 者	須藤 史晴	授業コード	D - 7
学 年	小1	教 科	算数
単 元 名	答えが大きいたしざん		
単 元 の 目 標	<p>計算や文章題に積極的にとりくもうとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>繰り上がりの計算の仕方の論理について、考えることができる。(数学的な見方・考え方)</p> <p>10の合成・分解を使って、計算をすることができる。(表現・処理)</p> <p>繰り上がりの計算の意味ややり方がわかる。(知識・理解)</p>		
単元の指導計画	<p>(1) 加法が用いられる場所を理解し、繰り上がりのある加法の答えの求め方を考える。 / 10のかたまりを作ればよいことを知る。</p> <p>(2) 繰り上がりのある加法の計算で、10のかたまりの作り方を考える。 / 10のかたまりを作るためには、加数を分解すればよいことを知る。</p> <p>(3) 被加数を分解することによって10のかたまりを作る場合について考える。</p> <p>(4) $8 + 6$について計算方法をいろいろ考える。 / 10のかたまりを作る方法がいろいろあることに気づく。</p> <p>(5) いろいろな方法でたし算の計算をする。</p> <p>(6) 加法の場面であることを理解し立式する。</p> <p>(7) 問題作りの活動を通して、加法の意味の理解を深める。 / 自分の作った問題を発表する。</p> <p>(8) 繰り上がりのある加法の計算カードで、計算練習をする。</p> <p>(9) 答えが同じカードを集め、被加数と加数の関係を考える。</p> <p>(10) 計算カードを使ってゲームをし、計算に習熟する。</p> <p>(11) 既習事項の、理解を深める。 / 計算問題をやる。</p>		
本時のねらい	<p>加法の場面であることを理解し、立式することができる。(数学的な見方・考え方)</p> <p>計算のやりかたを理解できる。(知識・理解)</p>		

本時の学習活動の展開

導 入	<p>計算カードをする。</p> <p>フラッシュカードをする。</p>
-----	--------------------------------------

展 開	<p>プリントをする。</p> <p>繰り上がりのあるたしざんのやり方を確認する。</p> <p>プリントの計算問題をして，色をぬる。</p> <p>（時間が余った子は，教科書の問題をする。）</p> <p>文章問題をする。</p> <p>足し算の問題かどうか，確認する。</p> <p>立式して，答えを求める。</p> <p>（時間が余ったらもう1問とりくむ。）</p>
ま と め	<p>まとめをする。</p>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>「やり方の確認」で，「$9 + 2$のやりかた」をプロジェクタで投影して使う。</p> <p>繰り上がりのある足し算の，計算の数学的な考え方（アルゴリズム）を視覚的にとらえ，理解をすすめることができる。</p> <p>「足し算の問題かの確認」で，足し算の場面になりうるかどうかをプロジェクタで投影したものを動かしながら考える。「あわせて」「ちがいは」などの語感のちがいを視覚的にとらえることができる。</p>

（備考1）枠の大きさを変更しても構いません。

（備考2）学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。